

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和3 年度)

施策コード	221		施策名	健幸づくりの支援
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)		
まちづくりの基本目標	22	健幸で笑顔あふれるまち		
担当部署	生涯健幸部		担当課	健康推進課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民一人一人が「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識を持っています。また、自ら進んで健康づくりに関心を持って実践し、生きがいをもって、自分らしくいきいきと健やかに暮らしています。			
施策の方向性	1	市民の主体的な健幸づくりを支援します		
	2	病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげ、重症化を予防します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
新型コロナウイルス感染症対策事業	1, 2	健康推進課	51,227
がん検診推進事業	2	健康推進課	32,459
健康増進事業	1	健康推進課	2,173
市民健康診査事業	2	健康推進課	26,666
健幸ポイント事業	1	健康推進課	16,365
食育推進事業	1, 2	健康推進課	44
感染症対策事業	1, 2	健康推進課	17,869
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1, 2	健康推進課	324,838
特定健康診査・健康チャレンジ事業	1	保険年金課	92,769
後期高齢者保健事業	1	保険年金課 介護保険課 健康推進課	99,852
総事業費(施策の合計)			664,262

4. まちづくり指標

指標情報				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	自分の健康状態は比較的良好と感じると思う人の割合		目標値	71.3	71.3	71.3	83.8	84.0
	説明	—	単位 %	実績値	68.4	68.4(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	95.9%	95.9%			
②	名称	年に一回は健診(健康診査)を受けている人の割合		目標値	83.5	83.5	83.5	83.5	83.6
	説明	—	単位 %	実績値	78.9	78.9(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	94.5%	94.5%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価 (成果、投入財源等を総合的に評価)	維持
		<p>●「10年後の姿」と比較すると、健康に関心のある市民が増えており、「自分の健康は自分で守る」という高い意識を持っておられる市民も少なくない。しかし大多数の市民の方が、実践と生きがいをもって自分らしくいきいきと健やかに暮らしている状況は、まだまだ近づいていないと考えられる。</p> <p>●市民の健康づくりのために、健康診査やがん検診、各種健康教室、健康相談、疾病予防のための予防接種等、様々な事業を展開した。また、がん検診の受診率を上げるために、無料クーポンの配布、個別受診勧奨、定員の拡大、50歳以上の方へのがん検診自己負担金の無料化等を引き続き行ったほか、新たに肺がん検診受診者を対象に大腸がん検診をオプションとして受けられるようにした。この結果、がん検診については受診率が徐々に上がってきてはいるが、目標は達成できていない状況にある。今後も実施方法の見直しが必要である。</p> <p>●特定保健指導については、コロナ禍とはいえ業務を委託化した成果が十分とは言えない状況である。ただ、対象者へのアプローチの多重化が職員の負担増にならず実施できたことは評価できる。</p> <p>●特定健康診査の未受診者に対する受診勧奨を実施し病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげることで重症化予防を推進した。</p> <p>●受動喫煙防止条例を制定し令和3年4月1日からは市内の学校、保育園及び幼稚園等(60か所程度)の隣接路上を禁煙とした。</p> <p>●新型コロナウイルスワクチン接種事業は、担当副参事・主査を配置して課と同等の組織で対応した。国から示された成果目標(11月末までに2回接種完了)を概ね達成し、3回目接種は全対象者の接種を限界まで前倒しするなど迅速な対応を行い、順調に進捗した。</p> <p>●食育推進計画の3年度事業については、各課より意見等を聴取した。また、福祉総務課よりコロナ禍での共食推進について、代替事業や対応策等の要望があった。これに対し、視点を変えて高齢者等に食のパフレットを配布することやみんなで黙食で一緒に食べる取り組みを実施し、同じ時間・場所を共有することで共食のメリットを得られることなどを提案した。</p>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響における受診控え等による健康上のリスクが生じている。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題</p> <p>生活習慣病の重症化予防に対する取り組み等について、実施方法や体制整備等の検討を進める必要がある。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組</p> <p>健診受診率、保健指導実施率向上、重症化予防のための取り組みを実施する。</p>
②	<p>施策を進める上での課題</p> <p>生活習慣病予防の意識づけが必要な若い世代や、健康づくりに関心が低い人への事業展開や情報発信が課題であり、地域の健康づくりの担い手である健康づくり推進員等と協力して継続して働きかけていく必要がある。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組</p> <p>健康に関する正しい知識などを身近な人へ伝えることのできる健康づくりサポーターの育成を行い、健幸づくりの輪を広げる。</p>
③	<p>施策を進める上での課題</p> <p>がん検診の受診率向上を図る必要がある。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組</p> <p>国が推進するがん検診の受診率向上を図るため、市民のがん検診の受診機会を拡大する。具体的には、特定健康診査と大腸がん検診との同時実施や、乳がん・子宮頸がん検診と肺がん・大腸がん検診との同時実施等を行う。</p>